医　師
バンク

勤務医アンケート

静岡県の勤務医アンケート調査結果
～医師が勤務先を決定する際に重視することは？～



静岡県医師会副会長　　小林　利彦

（はじめに）

静岡県医師会では「医師キャリア支援センター」と「シズケアサポートセンター」が中心となり、地域における医療や介護等の体制確保と人材育成に努めてきた。特に、医師キャリア支援センターでは、若手医師の県内定着促進に向け「屋根瓦塾 in Shizuoka」や「Welcome Seminar in Shizuoka」を企画・開催して、数多くの臨床研修医に医師会としての教育支援機能をアピールしてきた。また、人口あたりの医師数が少ない静岡県において、時として民間の医師紹介会社に好きなように扱われがちな状況下、地域の医療機関における医師確保策を公的立場で支援するために、静岡県からの依頼を受け本会が「静岡県医師バンク」を2021年１月に開設したという経緯もある。

静岡県医師バンク運営事業に関しては、未だ県外への広報活動等で苦戦していることもあり、現時点での就職実績はわずかであるが、県内で定年を迎える高齢医師や地元に戻りたいという県外で勤務する医師、家庭の都合等でパート的な勤務を希望する女性医師などへの情報提供・就職支援に少なからず寄与しているという自負はある。そのような背景のもと、そもそも医師はどのような動機で自身の居住地や勤務地を決めているのか、その際に重視している事項や要素は何なのか知るために、静岡県内で勤務する医師を対象にしたインターネットアンケート調査を行ったので、その概要と検討結果をここに報告する。

（対象と方法）

静岡県内に勤務する医師にアンケート用紙を直接送付するのは困難であると考え、静岡県病院協会に本調査の趣意を説明して、会員病院に勤務する医師にアンケート調査への協力を依頼する手法を取った。併せて、静岡県医師会として、これまで「屋根瓦塾 in Shizuoka」や「Welcome Seminar in Shizuoka」の開催を通じて得られた人的ネットワークを利用し、県内の臨床研修病院の事務担当者宛に本アンケート調査への協力依頼を行った。

実際のアンケート項目に関しては巻末の「参考資料」を見ていただきたいが、医師の性別や年齢、卒業大学、卒業年度、主たる診療科といった基本情報のほか、結婚の有無、子供の有無、出身都道府県（市町）、居住都道府県（市町）、勤務地都道府県（市町）、勤務地（勤務先）の選択理由、転職の予定、転職時の情報収集源、医師として働きたい年限、永住先（居住地・勤務地）を決定する際に重視する事項等について、計24項目の質問内容で構成されている。なお、実際のアンケート回答はインターネット経由でウェブサイトから行う方式とし、回答者の氏名やメールアドレスなどの個人情報は収集しないこととした。また、本アンケート結果を用いた各種報告書等の作成においては、回答者個人が同定されないように配慮する旨を事前に文書にて説明した。

本アンケートの実施に関して、インターネット上での回答システムの構築作業は、SBSグループの株式会社トムスに業務委託した。また、本アン

ケート調査に関わる諸費用は、静岡県の地域医療介護総合確保基金から捻出した。

（回答結果）

1．アンケートの回答数と検討対象数

2021年７月10日から８月末までに得られたアンケート回答は293件であり、そのうち、回答者（勤務医）の勤務地が静岡県内である290件を本調査での検討対象とした。

2．基本情報

290件（290人）の基本情報は以下のとおりである。

2-1. 性別

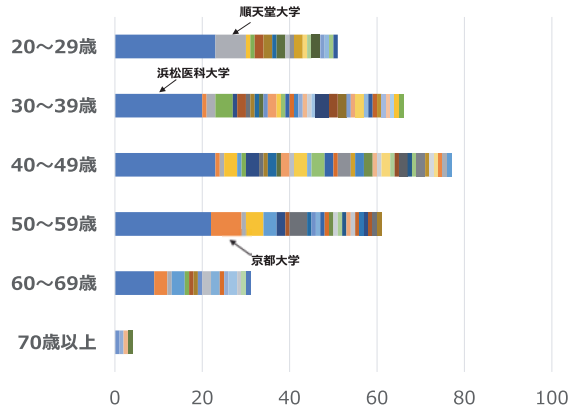
男性医師 223人（76.9%）

女性医師 67人（23.1%）

2-2. 年齢層と出身大学

医師の年齢層としては、40-49歳が77人(26.6%)と最多であり、次いで30-39歳が66人（22.8%)、50-59歳が61人（21.0%）の順であった。なお、出身大学は浜松医科大学が97人(33.4%)と最多であり、それに続いて、京都大学が12人（4.1%)、順天堂大学が12人（4.1%）であった**（図１）**。

図１　医師の年齢層と出身大学

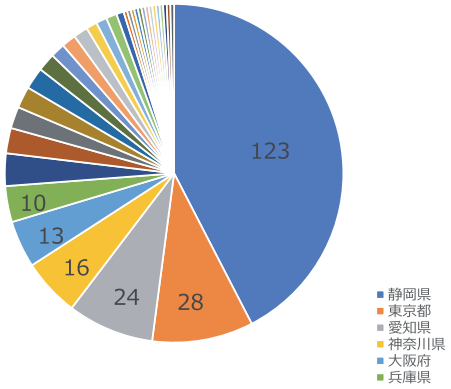


2-3. 出身都道府県

静岡県で勤務する医師290人の出身都道府県は、静岡県が123人（42.4%）と最多であり、それに続いて東京都が28人（9.7%)、愛知県が24人（8.3%)、神奈川県が16人（5.5%）であった**（図２）**。

（図２のグラフでは、人数が10名以上の都道府県のみ記載してある）

図２　医師の出身都道府県



2-4. 勤務地の分布

アンケート回答者（勤務医）の勤務地分布としては、東部圏域が38人（13.1%)、中部圏域が163人（56.2%)、西部圏域が89人（30.7%）であり、中部圏域での勤務者がやや多い傾向にあった。

2-5. 結婚の有無と子供の有無

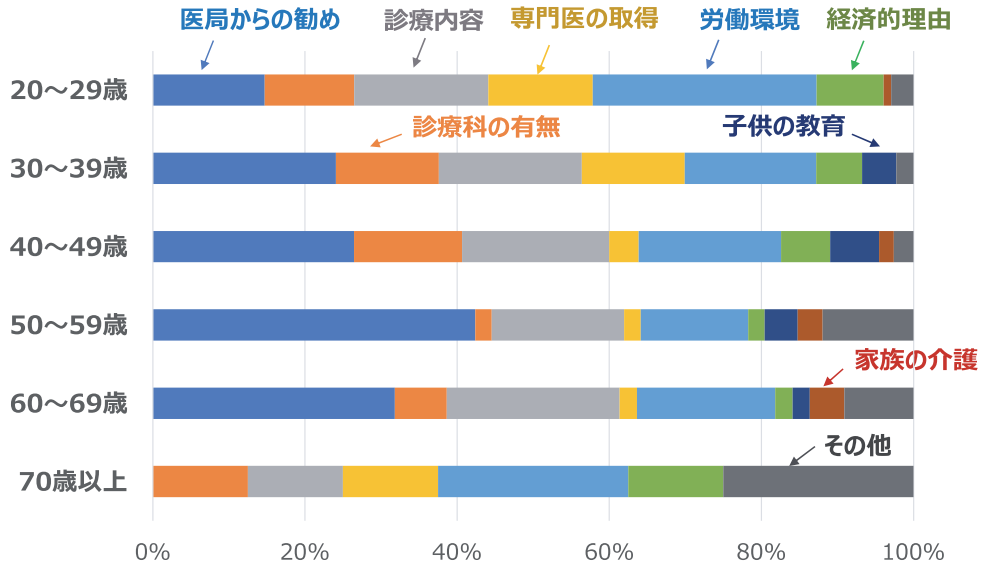
全年齢層を通じて既婚者（事実婚も含む）は211人（72.8%）であり、男性では78.5%が、女性では53.7%が既婚者であった。なお、年齢層的には、20-29歳が15.7%、30-39歳が69.7%、40-49歳が88.3%、50-59歳が90.2%、そして60-69歳・70歳以上は100%が既婚者であった。また、20歳未満の子供を有している割合は20-29歳が9.8%、30-39歳が59.1%、40-49歳が80.5%、50-59歳が47.5%、60-69歳が16.1%、70歳以上が０％であり、40歳代にそのピークがあった。

3．勤務先について

3-1. 現在の勤務先を選んだ理由

今回のアンケート調査では、多くの医師が定年近くまで「医局からの勧め」で現在の勤務先を決めている状況が確認された。また、20歳代・30歳代では「専門医の取得」が勤務先の決定要因として比較的多い一方で、30歳を過ぎると、勤務先の決定要因に「子供の教育」が一定程度影響していることが分かった。なお、「診療内容」と「労働環境」は、全年齢層を通じて重視されていた**（図３）**。

図３　現在の勤務先の決定要因



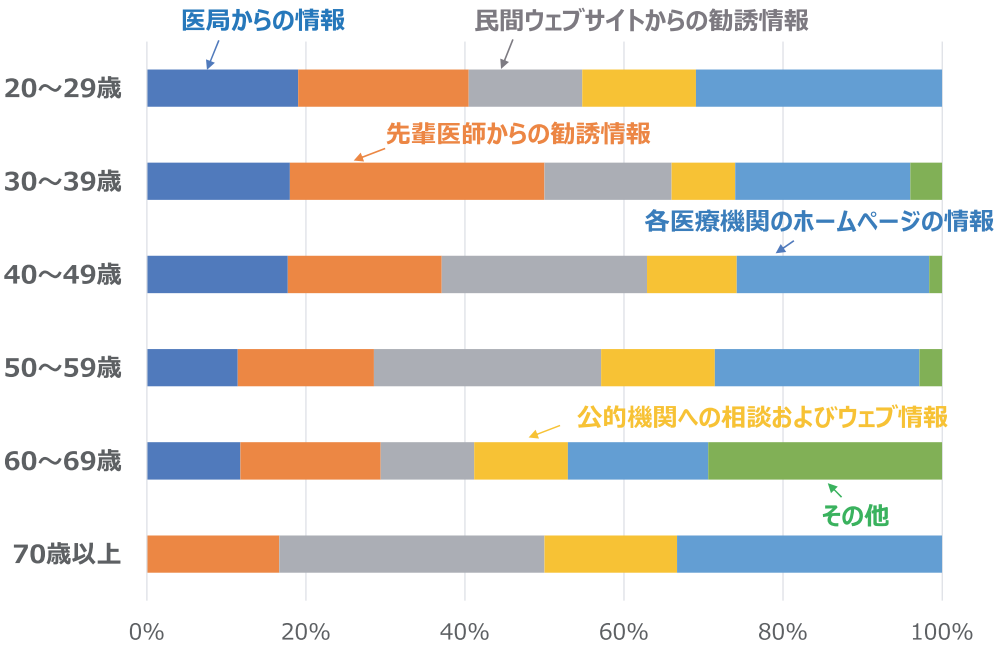
3-2.　転職の検討の有無

全年齢層を通じて、現在「転職は考えていない」とする回答が154人（53.1%）と最多であったが、20-29歳と60-69歳の年齢層において、「５年以内または10年以内の転職を考えている」という回答が比較的多かった（14.3%［20歳代］、29.0%［60歳代］）。

3-3.　転職先を決める際の情報収集源

転職先を決める際の情報収集源には年齢層による違いが若干見られ、20歳代・30歳代・40歳代では「医局からの情報」や「先輩医師からの勧誘情報」が比較的多いのに対して、50歳代以降は医局からの情報等に頼れなくなるためか、「民間ウェブサイトからの勧誘情報」や「公的機関への相談およびウェブ情報」などを参考にしている傾向が見られた。なお、「各医療機関のホームページの情報」は、全年齢層を通じて、転職先を決める際の情報源として利用されていた（**図４**）。

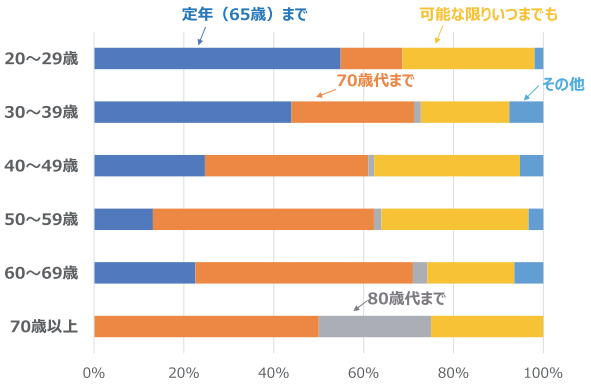
図４　転職を決める際の情報収集源



3-4. 医師として働きたいと思う年齢の上限

医師として働きたいと思う年齢の上限は、自身の年齢によって変化していく傾向があり、20歳代・30歳代では「定年(65歳)まで」とする医師が一定程度いるものの、年齢を重ねるにつれ、その上限が「70歳代まで」、「80歳代まで」と延長していく傾向が見られた。ちなみに、どの年齢層においても25%前後で「可能な限りいつまでも」働きたいと思っている医師がいた(**図5**)。

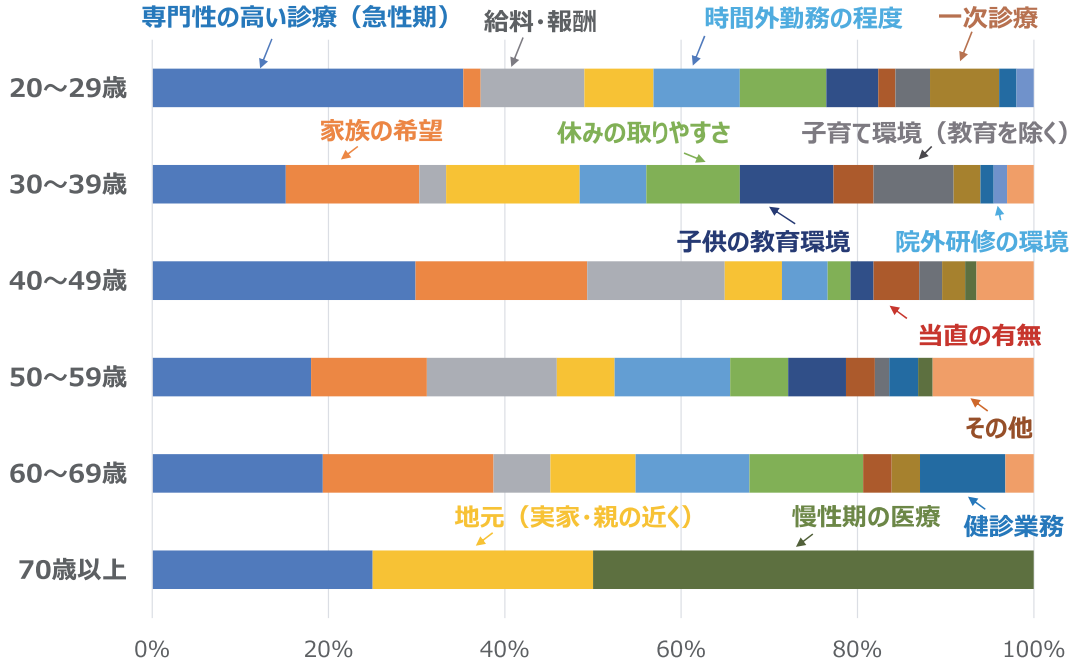
図5　医師として働きたいと思う年齢の上限



3-5. 将来の永住先（勤務先・勤務地）を決める際に最も重視すること

医師が将来の永住先（勤務地・勤務先）を決める際に重視している事項は数多くあるが、年齢層的な傾向として、20-29歳では急性期施設での「専門性の高い診療」が最も重視されていた。また、70歳未満では「家族の希望」が一定の割合で含まれているほか、30-39歳では「子供の教育環境」と「子育て環境（教育を除く）」が特に重視されている傾向にあった。なお、「給料・報酬」や「時間外勤務の程度」、「休みの取りやすさ」、「当直の有無」などは、70歳未満の医師にとって一定の関心事であった。そのほか、全年齢層を通じて、「地元（実家・親の近く）」は永住先を決める際の重要な決定要因となっていた（**図6**）。

図6　永住先（勤務地・勤務先）を決める際に最も重視していること



(考察)

今回のアンケート調査は、比較的短期間での実施となったこともあり、静岡県内の勤務医総数から考えると、網羅性においてやや問題があるかもしれない。実際、厚生労働省による三師調査(2018年)によれば、静岡県内には7948人の医師がいて、そのうち勤務医の大多数を占める病院従事者の数は4891人である[1,2]。また、同調査結果によれば、賀茂・熱海伊東・駿東田方・富士の二次医療圏からなる東部圏域には2405人、静岡・志太榛原

の二次医療圏からなる中部圏域には2508人、中東遠・西部の二次医療圏からなる西部圏域には3035人の勤務医（病院従事者）がいるとされる。そのような実状を踏まえると、今回のアンケート集計では東部圏域が38/2405人（1.6%）、中部圏域が163/2508人（6.5%）、西部圏域が89/3035人（2.9%）という網羅性（抽出対象）になっており、全般的にみて低い傾向にあった。ちなみに、厚生労働省の三師調査では医師の所在地が居住地で登録されていることから、静岡県東部圏域の勤務医（病院従事者）数には、関東圏からの流入医師（非常勤医）が相当数含まれていると思われる。いずれにせよ、大学病院（本院）を含む大きな基幹病院がある西部圏域からのアンケート回答が少なかったことは残念であった。一方、男女比率に関しては、先の三師調査において、静岡県内の医療施設従事者（病院・診療所従事者）7690人のうち男性医師が6328人（82.3%）、女性医師が1362人（17.7%）であることや、本アンケート調査の回答者が比較的若い世代であることなどを考えると、検討対象である勤務医の女性比率が23.1%であったことは妥当な結果と考える。

静岡県で勤務する医師の出身都道府県として、静岡県が123人と最多であり、全体の42.4%を占めていたことは概ね納得できる内容である。また、そのあとに東京都が28人（9.7%）、愛知県が24人（8.3%）、神奈川県が16人（5.5.%）と続く結果に関しても、浜松医科大学の近年の医学科地域別在学生数割合[3]が静岡・東京・神奈川・愛知の順であることと一致している。そのほか、医師の結婚に関して、全年齢層を通じて男性医師が78.5%、女性医師が53.7%既婚者である点は興味深い。これは、日本人の生涯未婚率（男性：20.1%、女性：10.6%）と医師の生涯未婚率（男性:3.6%、女性：19.4%）のギャップ[4]をある程度反映した結果とも言える。いずれにせよ、医師の地域偏在や診療科偏在等の議論においては、女性医師の結婚観にも踏み込んだキャリアパスの形成対応が問題となる。

医師が勤務地（勤務先）を決定する際の要因等が、年齢層に応じて変化していくことは興味深い。実際、臨床研修医から専攻医の段階である20歳代・30歳代において、「医局からの勧め」、「診療科の有無」、「診療内容」、「専門医の取得」が上位を占めるのは十分理解できる。また、30歳代以降に「子供の教育」が一定程度影響してくることや、40歳代以降に「家族の介護」が関係してくることなどは、この種の調査報告でよく言及されるところである[5]。ちなみに、「労働環境」や「経済的理由」が全年齢層である程度関係することは予想されたものの、「労働環境」の比率が20歳代で最も高かったのは意外であった。その背景には、20歳代・30歳代では診療内容や専門医の取得環境などが最優先されるものの、余暇などを含む自身の時間も大事にしたいという思いの表われかもしれない。

転職の検討に関する回答において、20歳代の医師と60歳代の医師は質問の意図を違った観点で捉えたかもしれない。実際、20歳代の医師が臨床研修医から専攻医、指導医へと進むキャリアパスの過程で、勤務地の変更を転職と考えるのも理解できるが、60歳代の医師においては、やはり定年が近づいてきたことで転職をより切実な問題として捉えている可能性が高い。その際、転職情報の収集源として、年齢層による対応変化が見られたことは興味深い。特に、20歳代・30歳代では「医局からの情報」や「先輩医師からの勧誘情報」が入りやすいのに対して、50歳代以降ではそれらの情報が収集しにくいのか、当該医師が急性期ではない勤務先への転職を希望するためなのか、「民間ウェブサイトからの勧誘情報」や「公的機関への相談およびウェブ情報」に頼りがちになることは十分想定されるところだが、本人にとっては極めて切実な問題であると考える。

医師として働きたいと思う年齢の上限が、医師の年齢層に応じて変化していくことは十分理解できる。実際、臨床現場で忙しく働いている20歳代の頃には、定年（65歳）を過ぎたら楽をしたいと思うだろうが、その後、自身の健康に問題がなければ「70歳代まで」、「80歳代まで」となることは十分推測され、全年齢層を通じて「可能な限りいつまでも」という医師が一定程度いることも理解できる。一方、将来的な永住先（勤務地・勤務先）を決定するにあたり、年齢層によってさまざまな思いや考えがあることも分かった。今回のアンケート調査では、急性期の医療機関等で「専門性の高い診療」をいつまでも（生涯現役？）という医師がいる一方で、永住先を決める際に「地元（実家・親の近く）」や「家族の希望」を重視する医師がほぼ全年齢層で少なからず見うけられた。ま

た、60歳未満の医師においては、「子供の教育環境」や「子育て環境（教育を除く）」が永住先の決定要因として少なからず重視されている傾向が見られた。さらに、働き方の視点として、「時間外勤務の程度」や「休みの取りやすさ」、「当直の有無」なども多くの世代で重視されていることが分かった。なお、「給料・報酬」に関しては、当初予想していたほど強い決定要因とはなっていない印象がある。ただし、仕事量に見合った妥当な対応は求めているものと考える。70歳以上の医師に関しては、それより若い世代とは異なり、体力的な問題等からか、慢性期の医療や介護施設等での勤務を希望している状況が分かった。

医師が勤務先を決定する際の要因に関しては、最近いくつかの報告がある。厚生労働省の研究班（医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査）による報告[6]では、「地方で働く意思がない理由」を20代、30・40代、50代以上に分けて分析しているが、その内容は今回のアンケート調査結果と多くの点で一致していた。また、エムスリーキャリアデザインラボによる「医師転職理由ランキング（2020年度版）」[5]では、「家庭事情（転居・育児・介護など）」、「人間関係の不満を解消したい」、「加齢による勤務内容の変更」、「QOLを良くしたい」が転職理由の上位（１位～４位）を占めており、勤務医にとって、専門医の取得等に必要な修練期間は一定程度重視されるものの、医師として一定のレベルに達した際には、家庭の事情や労働環境等に応じた転職判断を随時している実態がうかがわれた。

冒頭で触れたように、静岡県医師会では、2021年１月から「静岡県医師バンク」を運用している。人口あたりの医師数だけでなく地域偏在も著しい本県において、当初から、県外からの医師招聘を最大の目的とはしているが、今回のアンケート調査結果からも分かるように、定年間近の医師は転職情報等の収集源を十分持ち合わせておらず、本事業の中でより力を入れていくべき領域であることが再認識された。併せて、地元への回帰志向は全年齢層で見られることから、これまで以上にウェブサイト等の機能強化を図り、県外にいる静岡県出身者に情報発信していく必要性を感じた。現在、国は医師偏在対策（医師確保対策）として、医学生の定員増（地域枠等）と臨床研修制度・専門医制度でのシーリング効果に大きな期待を抱いているが、医師のキャリアパスや家庭事情等に配慮した居住地・勤務地選択に関する要因分析などは十分なされていない感がある。今回のアンケート調査結果を踏まえ、静岡県においても、各種修学資金や給与の多寡等のみで医師の確保に注力することなく、医師の生活面にも配慮した独自の対応策を検討・工夫していく必要性があると考えられた。

（引用文献・参考文献）

１）ふじのくに静岡県公式ホームページ．平成30年医師数・歯科医師数・薬剤師数（市町・２次医療圏別）．
https://toukei.pref.shizuoka.jp/kenkou_seisakukan/data/h30sanshi/h30sanshi.html

２）厚生労働省：平成30年（2018年）医師・歯科医師・薬剤師統計の概況．
平成30年（2018年）医師・歯科医師・薬剤師統計の概況
https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/18/index.html

３）国立大学法人浜松医科大学 概要2021．医学科地域別学生数割合．
https://www.hama-med.ac.jp/about-us/mt_files/210618_gaiyou2021_A3_moji.pdf#page＝5

４）レジデントノート「科学で見る恋愛講座」第７回医師の結婚．
https://www.yodosha.co.jp/rnote/renai/renai_9784758115759.html

５）m3.com キャリアデザインラボ：【2020年版】医師7,000人の転職理由ランキング．
https://career-lab.m3.com/categories/guide/series/step1/articles/630

６）厚生労働省医政局資料：新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会（平成29年４月６日）資料２．
https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000161146.pdf

（参考資料）

静岡県医師バンク「医師のキャリア形成に関する意識・実態調査」

1　あなたご自身についてお教えください

Q1　あなたの性別をお知らせください。

1. 男性
2. 女性

Q2　あなたの年齢をお知らせください。

1. 20～29 歳
2. 30～39 歳
3. 40～49 歳
4. 50～59 歳
5. 60～69 歳
6. 70 歳以上

Q3　あなたは結婚していますか。

1. 未婚
2. 既婚（事実婚も含む）
3. 離別・死別

Q4　あなたと同居しているお子様の人数をお知らせください。
（20 歳未満のお子様についてお知らせください）

1. 1 人
2. 2 人
3. 3 人
4. 4 人以上
5. 同居している 20 歳未満の子どもはいない

Q5　ご出身の都道府県をお知らせください。

1.	静岡県	11.	群馬県	21.	長野県	30.	和歌山県	39. 高知県
2.	北海道	12.	埼玉県	22.	岐阜県	31.	鳥取県	40. 福岡県
3.	青森県	13.	千葉県	23.	愛知県	32.	島根県	41. 佐賀県
4.	岩手県	14.	東京都	24.	三重県	33.	岡山県	42. 長崎県
5.	宮城県	15.	神奈川県	25.	滋賀県	34.	広島県	43. 熊本県
6.	秋田県	16.	新潟県	26.	京都府	35.	山口県	44. 大分県
7.	山形県	17.	富山県	27.	大阪府	36.	徳島県	45. 宮崎県
8.	福島県	18.	石川県	28.	兵庫県	37.	香川県	46. 鹿児島県
9.	茨城県	19.	福井県	29.	奈良県	38.	愛媛県	47. 沖縄県
10.	栃木県	20.	山梨県					

Q5 で「静岡県」を選択した人

Q6　静岡県内ご出身の方は、ご出身の市町をお知らせください。

1.	静岡市	10.	磐田市	19.	伊豆市	28.	西伊豆町	
2.	浜松市	11.	焼津市	20.	御前崎市	29.	函南町	
3.	沼津市	12.	掛川市	21.	菊川市	30.	清水町	
4.	熱海市	13.	藤枝市	22.	伊豆の国市	31.	長泉町	
5.	三島市	14.	御殿場市	23.	牧之原市	32.	小山町	
6.	富士宮市	15.	袋井市	24.	東伊豆町	33.	吉田町	
7.	伊東市	16.	下田市	25.	河津町	34.	川根本町	
8.	島田市	17.	裾野市	26.	南伊豆町	35.	森町	
9.	富士市	18.	湖西市	27.	松崎町			

Q7　現在、あなたがお住まいの都道府県をお知らせください。

1.	静岡県	11.	群馬県	21.	長野県	30.	和歌山県	39. 高知県
2.	北海道	12.	埼玉県	22.	岐阜県	31.	鳥取県	40. 福岡県
3.	青森県	13.	千葉県	23.	愛知県	32.	島根県	41. 佐賀県
4.	岩手県	14.	東京都	24.	三重県	33.	岡山県	42. 長崎県
5.	宮城県	15.	神奈川県	25.	滋賀県	34.	広島県	43. 熊本県
6.	秋田県	16.	新潟県	26.	京都府	35.	山口県	44. 大分県
7.	山形県	17.	富山県	27.	大阪府	36.	徳島県	45. 宮崎県
8.	福島県	18.	石川県	28.	兵庫県	37.	香川県	46. 鹿児島県
9.	茨城県	19.	福井県	29.	奈良県	38.	愛媛県	47. 沖縄県
10.	栃木県	20.	山梨県					

Q7 で「静岡県」を選択した人

Q8　現在のお住まいの市町をお知らせください。

1.	静岡市	10.	磐田市	19.	伊豆市	28.	西伊豆町	
2.	浜松市	11.	焼津市	20.	御前崎市	29.	函南町	
3.	沼津市	12.	掛川市	21.	菊川市	30.	清水町	
4.	熱海市	13.	藤枝市	22.	伊豆の国市	31.	長泉町	
5.	三島市	14.	御殿場市	23.	牧之原市	32.	小山町	
6.	富士宮市	15.	袋井市	24.	東伊豆町	33.	吉田町	
7.	伊東市	16.	下田市	25.	河津町	34.	川根本町	
8.	島田市	17.	裾野市	26.	南伊豆町	35.	森町	
9.	富士市	18.	湖西市	27.	松崎町			

Q9　卒業大学をお知らせください。
医学部の卒業大学名をご記入ください

Q10　医学部の卒業年度をお知らせください。（半角4桁の数字で）
西暦でご記入ください （記入例：1995）

2　現在の勤務の状況についてお聞きします

Q11　現在の主たる勤務地はどちらですか。
（複数ある場合は、勤務時間が最も長いものをお知らせください。）

1.	静岡県	11.	群馬県	21.	長野県	30.	和歌山県	39. 高知県
2.	北海道	12.	埼玉県	22.	岐阜県	31.	鳥取県	40. 福岡県
3.	青森県	13.	千葉県	23.	愛知県	32.	島根県	41. 佐賀県
4.	岩手県	14.	東京都	24.	三重県	33.	岡山県	42. 長崎県
5.	宮城県	15.	神奈川県	25.	滋賀県	34.	広島県	43. 熊本県
6.	秋田県	16.	新潟県	26.	京都府	35.	山口県	44. 大分県
7.	山形県	17.	富山県	27.	大阪府	36.	徳島県	45. 宮崎県
8.	福島県	18.	石川県	28.	兵庫県	37.	香川県	46. 鹿児島県
9.	茨城県	19.	福井県	29.	奈良県	38.	愛媛県	47. 沖縄県
10.	栃木県	20.	山梨県					

Q11 で「静岡県」を選択した人

Q12　現在の主たる勤務地の市町をお知らせください。（静岡県内）

1.	静岡市	10.	磐田市	19.	伊豆市	28.	西伊豆町	
2.	浜松市	11.	焼津市	20.	御前崎市	29.	函南町	
3.	沼津市	12.	掛川市	21.	菊川市	30.	清水町	
4.	熱海市	13.	藤枝市	22.	伊豆の国市	31.	長泉町	
5.	三島市	14.	御殿場市	23.	牧之原市	32.	小山町	
6.	富士宮市	15.	袋井市	24.	東伊豆町	33.	吉田町	
7.	伊東市	16.	下田市	25.	河津町	34.	川根本町	
8.	島田市	17.	裾野市	26.	南伊豆町	35.	森町	
9.	富士市	18.	湖西市	27.	松崎町			

Q13　現在の主たる勤務施設はどちらですか。
大学院（社会人大学院を除く）、大学病院も含みます。

1. 病院（大学病院を除く）
2. 大学病院
3. 大学院（社会人大学院を除く）
4. 診療所
5. 介護施設
6. その他（　　）

Q14　主たる勤務施設での勤務形態はどちらになりますか。

1. 常勤
2. 非常勤
3. その他（　　）

Q15　現在の主たる診療科はどちらになりますか。

1.	内科	15.	心療内科	28.	眼科
2.	呼吸器内科	16.	外科	29.	耳鼻咽喉科
3.	循環器内科	17.	呼吸器外科	30.	小児外科
4.	消化器内科（胃腸内科）	18.	心臓血管外科	31.	産婦人科
5.	腎臓内科	19.	乳腺外科	32.	産科
6.	神経内科	20.	気管食道外科	33.	婦人科
7.	糖尿病内科（代謝内科）	21.	消化器外科（胃腸外科）	34.	リハビリテーション科
8.	血液内科	22.	泌尿器科	35.	放射線科
9.	皮膚科	23.	肛門外科	36.	麻酔科
10.	アレルギー科	24.	脳神経外科	37.	病理診断科
11.	リウマチ科	25.	整形外科	38.	臨床検査科
12.	感染症内科	26.	形成外科	39.	救急科
13.	小児科	27.	美容外科	40.	臨床研修医
14.	精神科			41.	その他（　　）

Q16 現在の勤務施設に決定した理由について、あてはまるものを全てお知らせください。
（複数回答可）

1. 医局からの勧め
2. 診療科の有無
3. 診療内容
4. 専門医の取得
5. 労働環境
6. 経済的理由
7. 子どもの教育
8. 家族の介護
9. その他（　　）

3　今後の勤務についてお聞きします

Q17 現在、転職をお考えですか。

1. ５年以内の転職を考えている
2. 10 年以内の転職を考えている
3. 時期は未定だが、いずれは転職したい
4. 転職は考えていない
5. わからない

Q17 で「5 年以内の転職を考えている」「10 年以内の転職を考えている」「時期は未定だが、いずれは転職したい」のいずれかを選択した人

Q18 転職したいと思う理由をお知らせください。

Q17 で「5 年以内の転職を考えている」「10 年以内の転職を考えている」「時期は未定だが、いずれは転職したい」のいずれかを選択した人

Q19 転職先を決める際の情報収集はどちらからですか。あてはまるものを全てお知らせください。
（複数回答可）

1. 医局からの情報
2. 先輩医師からの情報
3. 民間ウェブサイトからの勧誘情報
4. 公的機関への相談およびウェブ情報
5. 各医療機関のホームページの情報
6. その他（　　）

Q20 あなたが医師として働きたいと思う年齢はおいくつくらいまでとお考えですか。

1. 定年（65歳）まで
2. 70歳代まで
3. 80歳代まで
4. 可能な限りいつまでも
5. その他（　　）

Q21 将来の永住先として勤務地・勤務施設を決定する際に、どのようなことを重視しますか。あてはまるものを全てお知らせください。（複数回答可）
【①診療内容】について

1. 専門性の高い診療（急性期の医療機関にて）
2. 慢性期の医療（療養型医療施設、介護施設等にて）
3. 診療所などの１次診療
4. 健診業務
5. 産業医
6. その他（　　）

Q22 将来の永住先として勤務地・勤務施設を決定する際に、どのようなことを重視しますか。あてはまるものを全てお知らせください。（複数回答可）
【②労働環境、給料・報酬】について

1. 院外研修のしやすさ
2. 当直の有無
3. 時間外勤務の程度
4. 休みの取りやすさ
5. 給料または報酬
6. その他（　　）

Q23 将来の永住先として勤務地・勤務施設を決定する際に、どのようなことを重視しますか。あてはまるものを全てお知らせください。（複数回答可）
【③家族】について

1. 地元（実家・親の近く）
2. 子どもの教育環境
3. 子育て環境（教育を除く）
4. 家族の希望
5. その他（（　　）

Q24 それでは、将来の永住先として勤務地・勤務施設を決定する際に、
【最も重視するものを1つだえ】お知らせください。

1. 専門性の高い診療（急性期の医療機関にて）
2. 慢性期の医療（療養型医療施設、介護施設等にて）
3. １次診療
4. 健診業務
5. 産業医
6. 院外研修の環境
7. 当直の有無
8. 時間外勤務の程度
9. 休みの取りやすさ
10. 給料・報酬
11. 地元（実家・親の近く）
12. 子どもの教育環境
13. 子育て環境（教育を除く）
14. 家族の希望
15. その他（　　）